

六区 陶芸教室の作品を文化祭で

分館長 小口 純正よしまさ

十一月四日(日)に町屋敷公会所において「第六区文化祭」が開催されました。当日は寒い朝でしたが日中は穏やかな陽気で、区民の大人から子どもまで、多くの方々の作品を大勢の方にご覧いただくことができました。

出品された作品の中には、文化祭の約一か月前に実施された分館主催の「陶芸教室」で製作した器や皿がありました。陶芸教室では、となりの方の作品を見ながら「この形いいねえ」「もっと大きいものを作ろう」など、コミュニケーションを図ることができました。



参加者が思い思いの作品を作り、文化祭での出品を楽しみにしていました。今年作品をご覧いただく方のために会場内にいすを設置して、喫茶コーナーをつくって接待サービスも行い大変好評でした。

七区 親睦が図れた「家呑み講座」

分館長 増沢 昭司

六月九日、小雨が降り肌寒い陽気のなか、「家で美味しく発泡酒と第三のビールを呑もう」を合言葉に、長崎酒店の長崎美知子先生を講師に迎えて、開催されました。



発泡酒、第三のビールの三銘柄を、香り・色・原材料の種類、度数などを呑み比べ、貴重な体験となりました。おつまみも千葉産落花生、茶豆、飛騨産の豆腐等、主催者のアイデアで好評をいただきました。

後半は、皆さんほろ酔い気分、会場は熱気で最高となり、参加者の親睦を図ることができました。年齢層には片寄りがあったようで、課題もありましたが、女性を含め二十八名の参加をいただきました。参加されました皆様、ありがとうございました。

八区 運動会の楽しい一日

分館長 松澤 等

いつも天気が気になっていた。晴れるといいなあ。区民皆の願いが通じたのか、五月晴れの下、運動会を行うことができた。朝早くから準備をしたので、予定通りの開始となった。

ちびっ子、小学生、中学生、老若男女が集まって、競技が始まった。かけっこ、綱引きなど、プログラムが進んでちよつと一休み。

パン食い競争のパンとジュースで休憩。その後も、地区対抗のムカデ競争、幼児の旗拾い、最後のマラソンで、楽しい一日が終わった。



この日は、裏方としての参加だった。当日の天気を心配したり、事前の準備など、大勢のスタッフたちに助けられ、無事終えることができた。充実した一日だった。

九区 大勢参加の盆踊り講習会

分館長 與曾井 秀治よそい

毎年、八月の第一土曜日に、分館主催で星が丘公会所にて、納涼会を開催します。

ここでは、子ども向けの屋台と大人向けに生ビールを用意して区民に提供し、メインイベントとして、ひまわり会による盆踊りを披露していただいています。



ご多分にもれず、会員の減少に見舞われていたのですが、今年区民から盆踊りを教えてほしいと頼まれるというサプライズがありました。納涼祭まで半月しかない中でしたが、大勢の方の参加に恵まれました。

納涼祭で多数の盆踊りを披露していただき、夏の花という感じで素晴らしかったです。秋祭りでも飛び入り参加があるなど、びっくりしました。今後も、発表の場をできるだけ確保して、皆様に提供するよう活動していきたいと思えます。



十区 絆を深めた区民親睦ハイキング

分館長 宮坂 昇

五月二十七日(日)、五年ぶりとなる区民親睦ハイキングを、さわやかな晴天の下で開催することができました。

総勢八十五名の参加者は、午前九時に富部公民館を出発し、清々しい新緑のなか、ウグイスの鳴き声を聴いたり、道端のワラビを見つけたりしながら、軽快な足取りで、目的地のいずみ湖までの道のりを楽しみました。途中、役員が扮するスパイダーマンも現れ、子どもたちも大喜び。

いずみ湖到着後は、おいしい豚汁と一緒に、持参したお弁当を食べたり、歓談やニュースポーツを楽しんだりしました。

大人も子どもも、「富部の絆」を深め合う充実した一日となりました。



1年間の各区の分館活動を振り返ってみました。伝統的な行事ばかりでなく、新しい行事や活動もあり、各区で充実した活動ができたようです。役員の方々のご苦勞に感謝しつつ、より多くの区民が参加して「地域の絆」を深めていきたいものです。